



2017年度 東北地理学会 秋季学術大会 プログラム

1. 期 日 2017年10月28日(土)～29日(日)
2. 会 場 岩手県民会館(盛岡市内丸13-1 Tel 019-624-1171)
3. 日 程 10月28日(土)

第1会場	9:30～自然 11:06～共通	昼 休 み	13:00～共通 15:00～シンポジウム
第2会場	9:30～人文		13:00～人文

10月29日(日) 巡検

4. シンポジウム 「津波災害を如何に伝えるか—地元から後世および他地域に—」
主催：東北地理学会 共催：日本地理学会被災地再建研究グループ
5. 懇親会 日 時 10月28日(土) 18:00 から
会 場 北ホテル(盛岡市内丸17-45)
会 費 5,000円(学生・院生 2,000円)
6. 巡 検 テーマ 「安比高原リゾート開発の今昔」
※巡検の詳細は本プログラムの4ページをご覧ください。

7. 会場略地図



盛岡駅から大会会場までのアクセス

- ①徒歩の場合：約20分(1.7km)
- ②バスの場合：東口バスターミナル6番乗場から「盛岡バスセンター」行に乗車、「県庁・市役所前」にて下車。所要時間約10分+徒歩約3分。

※6番乗場から出る全バスが「県庁・市役所前」を通ります。

10月28日(土) **第1会場 自然・共通分野** 自然 09:30~11:06 自然 11:06~14:24
発表+討論時間 S:12+8分、L:20+8分 使用機器 p:プロジェクタ *:口頭発表者

- 1-01 09:30 Lp 大貫 靖浩* (森林総合研究所)・古堅 公 (元一般財団法人沖縄県環境科学センター)・生沢 均 (元沖縄県庁)・後藤 秀章 (森林総合研究所)・新垣 拓也 (沖縄県森林資源研究センター): 沖縄本島最北部における森林伐採後の土壌含水率・地温分布と微地形・土層厚との関係
- 1-02 09:58 Lp 栗山 知士 (元秋田県立男鹿工業高): 男鹿半島, 安田海岸で 2014 年 12 月の爆弾低気圧によって形成された海食地形
- 1-03 10:26 Sp 古市 剛久* (北海道大)・石丸 聡 (道立総研機構地質研究所)・塩野 康浩 (国土防災技術北海道(株))・小山内 信智・林 真一郎 (北海道大): 十勝平野西部芽室川流域における低位段丘の発達史と 2016 年 8 月豪雨による侵食 (予察)
- 1-04 10:46 Sp 今野 明咲香*・遠田 晋次 (東北大): 地理情報システム (GIS) を用いた 2016 年熊本地震における推定断層と地表地震断層のずれ幅の検討
- 1-05 11:06 Lp 村山 良之*・八木 浩司 (山形大)・窪田 敏一 (国土交通省)・緒續 英章・金 英樹 (NPO 土砂災害防止広報センター): 土砂災害に対する防災教育支援—山形県庄内町における取組—
- 1-06 11:34 Sp 香川 貴志 (京都教育大): 小学校社会科副読本における津波の防災・減災に関する取扱いについて—岩手県宮古市と和歌山県広川町を例として—

<昼休み 12:02~13:00>

- 1-07 13:00 Lp 谷口 宏充 (元東北大): 東日本大震災による災害遺産が語ること—減災と科学の視点で見た宮城県での事例—
- 1-08 13:28 Lp 高橋 結*(宮城大・研)・中沢 峻・佐々木 秀之・郷古 雅春(宮城大): 地域人材育成のためのアクティブラーニングモデルの構築—宮城大学における自治体との協働による「地域フィールドワーク」の事例

1-09 13:56 Lp 米地 文夫(ハーナムキヤ景観研究所)：架空地域イーハトヴ発想の原点を探る—風土と時代と賢治の情念と—

<シンポジウム 15:00 (14:40 開場) ~17:30>

10月28日(土) **第2会場 人文分野** 09:30~15:32

発表+討論時間 S:12+8分、L:20+8分 使用機器 p:プロジェクタ *:口頭発表者

2-01 09:30 Lp 高野 岳彦(東北学院大)：長面浦の生業と復興の現状

2-02 09:58 Lp 関根 良平*(東北大)・庄子 元(青森中央学院大)・小田 隆史(宮城教育大)：5年を経過した特定第三種漁港の「復旧」と「復興」

2-03 10:26 Lp 阿部 隆*(東北大・院)・磯田 弦(東北大)・澁木 智之(東北大・院)：国勢調査を用いた東北地方の人口移動パターンの地域分析—東日本大震災後の仙台—極集中傾向を中心として—

2-04 10:54 Sp 山本 耕三(熊本大)：熊本市城下町地区における歴史的建造物の熊本地震から1年間の建物利用および土地利用変化

2-05 11:14 Sp 張 紅(山形大・院)：北京市街地の再開発に見られる胡同景観の変化—北京市南鑼鼓巷と大柵欄の比較から—

2-06 11:34 Lp 阿部 隆(東北大・院)：自然災害に関する日本の地理学界の研究動向—東北地理学会の研究動向を中心として—

<昼休み 12:02~13:00>

2-07 13:00 Sp 飯坂 正弘*(農研機構) 麥倉 哲・梶原 昌五(岩手大)・浦野 正樹・野坂 真(早稲田大)：岩手県大槌町における6年間の仮設住宅訪問調査—みる大槌町内での居住希望の変化—自宅再建か復興住宅かあるいは元の地区か—

2-08 13:20 Lp 櫛引 素夫(青森大)：転換期のコンパクトシティ政策と郊外型団地の現状—青森市の模索と幸畑団地地区の住宅・空き家の動向—

- 2-09 13:48 Lp 稲葉 雅子(東北大・院)：「まちあるき観光」の事業継続性について
- 2-10 14:16 Lp 杉浦 直* (岩手大・非)・菅原 あさひ：盛岡市鉾屋町界隈のまちづくり
—その経緯と特質—
- 2-11 14:44 Sp 佐々木 達 (宮城教育大)：東北地方における農業生産性の変化
- 2-12 15:04 Lp 駒木野 智寛：大型住居址からみる北日本縄文時代の居住環境

巡 検

行 程 北ホテル (8:00 発) ⇒JR 盛岡駅西口バスターミナル (8:15 発) ⇒貝梨峠 (分水界) ⇒八幡市博物館 (講義・館内見学・昼食) ⇒安比漆器工房⇒細野 (民宿・サッカー場) ⇒安比高原ふなの駅⇒ブナ二次林散策⇒ペンションレゾ、別荘村⇒JR 盛岡駅西口バスターミナル解散 (15:40 着) ※予定が変更になることもあります。

案内者 豊島 正幸 (元岩手県立大)

問い合わせ先 吉木 岳哉 (岩手県立大) y-takeya@iwate-pu.ac.jp

定 員 20 名 (申込順)

参加費 3,000 円 ※交通費・昼食代・資料代・入場料を含む。

地形図 1/50,000 地形図「沼宮内」, 「八幡平」, 「荒屋」